

患者の皆さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しており、対象となる可能性の患者さまの診療情報などを研究目的で利用させていただきます。本研究を行うことで患者さんに負担が生じることはありませんが、対象者となることを希望されない方、詳しくこの研究について知りたい方は、下記連絡先までご連絡ください。

【研究課題名】

外来化学療法の連携充実加算算定と薬薬連携の更なる充実に向けた取り組み

【研究概要など】

外来化学療法施行患者のサポートのための薬薬連携の必要性が高まっています。

令和2年度診療報酬改定にて医療機関には「連携充実加算」が新設されました。

「連携充実加算」とは、外来での抗がん剤治療の質を向上させる観点から、患者さんにレジメン(治療内容)を提供し、患者さんの状態を踏まえた必要な指導を行うとともに、地域の薬局に勤務する薬剤師等を対象とした研修会の実施等の連携体制を整備している場合に取得するものです。

病院薬剤師が副作用を評価するとともに、治療計画書、副作用状況等の情報提供書を作成し患者さんへ交付します。その情報を薬局薬剤師と共有し、外来化学療法患者の副作用発現状況などを継続的に聴取し、支援を行っていくことを目的としています。

それに伴い、当院でも、令和3年2月より、XELOX、及びXELOX+BV療法実施患者に対し、木曜日の介入と対象レジメンと曜日を限定し、保険薬局への治療情報の提供を含めた継続的な患者面談を開始しました。

対象となる患者さんへは、文書「国立病院機構千葉医療センターで外来化学療法を受けられている患者さま・ご家族さまへ〈外来化学療法における情報提供書〉について」を用い、説明を行い、同意を頂いたうえで継続的な介入を行っています。

外来化学療法の連携充実加算の現状を調査することで、業務の拡大と内容の充実を図ることで患者さんがより安心安全に治療を継続していただきたいと考え、本研究を計画しました。

【対象となる患者さんと使用する試料など】

- ・2021年2月から2022年3月までに連携充実加算算定に同意を頂いた方
 - ・2020年1月から2022年3月までに外来化学療法通院治療室へ電話相談された方
- 上記の患者さんが対象となります。

カルテの情報、外来化学療法通院治療室業務記録（電話対応内容）を使用させていただきます。

カルテ調査、業務記録調査は、電子カルテ、業務記録にて以下項目を調査します。

患者背景：年齢、性別、がん種、副作用発現状況、外来化学療法実施歴、電話相談内容、合併症、治療歴、治療経過、投与期間、併用薬、薬剤師介入有無、情報提供書有無 等

【個人情報の管理の取り扱いについて】

収集されたデータは、匿名化して患者さんの個人情報が外部に漏れることがないように十分注意して管理いたします。プライバシーの保護に細心の注意を払いますので、患者さん自身の個人情報が公表されることもありません。個人を特定できる氏名、住所、電話番号等は収集しません。また本研究によって得られた成果等が、国内外の学術集会や科学専門誌で発表される場合でも個人が特定されることはありません。

【研究期間】

院長の研究実施に関する決定通知発行後 2022 年 3 月 31 まで

【研究機関】

研究責任者：千葉医療センター 薬剤部 薬剤師 宮脇 未来

【連絡先】

千葉医療センター 薬剤部

〒260-8606 千葉県千葉市中央区椿森 4-1-2 TEL : 043-251-5311

担当者：宮脇 未来